神戸セントモルガン教会

No. 19-005-2011作成 新築 その他

発注者 株式会社タガヤ

施工

設計·監理

㈱間組一級建築士事務所

A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO₂技術 C. 各種制度活用

E. リニューアル F. 長寿命化

G 建物基本性能確保 H 生産・施工との連携

㈱間組大阪支店

I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他

まちなみ・景観に配慮した外観デザイン

旧居留地地区での景観への配慮

神戸セントモルガン教会は、神戸の目抜き通りに現れた、本格的な大聖堂とバンケッ トを併設した、教会式結婚式場です。

敷地周辺は、旧居留地地区に面しています。周囲には、近代建築のいくつかが、現在 も建築当時の形態をとどめており、近代建築と現代建築とが一体となった歴史的な景 観がつくられています。そして、そのような景観に配慮するため、風格のある街並み 形成とまちににぎわいができるような外観デザインを目指しました。

ファサードデザインについて

外観は、ヨーロッパの街並みを彷彿させるクラシカルなデザインとしています。 1階は、敷地内に大きなピロティを設けることで、通りからの圧迫感をなくすととも に、重厚感ある石壁と大きな幌の庇が、まちににぎわいを与え、歩行者が多いこの通 りに、違和感なく溶け込むデザインとしています。

大聖堂とバンケットについて

19世紀に、有名ステンド工房ゼトラー社でつくられたアンティークのステンドグラス をもつ大聖堂は、天井高さ12.8mのファンボールド形式の天井をもち、聖歌隊やパイ プオルガンの演奏が、荘厳に響き渡るように設計されています。また、120名収容で きるバンケットと60名収容できる会食会場を併設しております。どちらも、気品ある シックなヨーロピアンテイストでインテリアをまとめており、230インチのプロジェ クターを設置したり、音響・映像装置にも力をいれています。



1階ファサード



外観写真



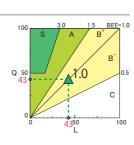
旧居留地と夜景

建物データ 兵庫県神戸市 所在地 2012 年 竣工年 敷地面積 639m² 延床面積 2. 935m² 構造 RC造

階数 地下1階、地上6階 省エネルギー性能

ERR (CASBEE準拠) 21 % B⁺ランク BEE=1.0 2010年度版 自治体提出

CASBEE評価



環境配慮した照明計画

内部の照明計画は、建物用途上、演色性の高いハロゲン照明器具を 採用していますが、式場、バンケット、外部ライトアップ照明には、 省エネルギー・メンテナンス性に優れたLEDライトを採用していま

地球温暖化防止への配慮

オール電化方式とし、CO2、NOx等の地球温暖化ガスを発生させ ない設備としています。

- ・厨房、パントリー等の調理室は、オール電化方式としています。
- ・式場、バンケット等の空調熱源は、空冷ヒートポンプエアコンを 採用しています。
- ・厨房、洗面などの給湯設備は、個別方式の貯湯式電気温水器を採用

温熱環境への配慮

- ・式場、バンケット、会食会場は、冷房時24℃、暖房時22℃の 温度を維持できるような空調設備としています。
- ・厨房は作業環境の悪化を防止するため、二重排気フードを採用して います。

騒音・振動への配慮

- ・式場は室内騒音をNC30以下を目標とするよう、消音対策をして います。(空調ダクトに消音装置、壁を貫通するダクト・配管・配 線に遮音対策を実施)
- ・設備機器(音響スピーカー、エアコン室外機、給排気ファン等)の 振動が、式場、バンケットへ影響しないように防振装置を設置して
- ・外部騒音が、式場内部に浸入するのを防ぐ為、ステンドグラス部分 のサッシを特性の3重サッシとしています。
- ・厨房等の音の発生原のある部屋は、浮き床構造としています。

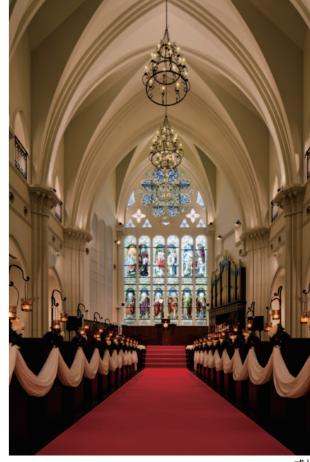
省エネルギーへの配慮

エネルギー使用量を低減し、ランニングコストを抑えるために、以下 の設備を導入しています。

- ・式場、バンケットの人員が多く、換気量の多い部屋に、全熱交換機 を採用しています。
- ・長寿命で電力消費の少ないLED照明器具を各所に採用していま
- ・非使用時に照明器具を消灯できるように、各所に人感センサー制御 を採用しています。
- ・給水使用量を抑制するために、筋水型器具、自動水栓を採用してい

設計担当者

意匠:桑田具実/構造:大鳥実穂/設備:宮崎真有/電気:中山敬一





ステンドグラス

2階ホール



主要な採用技術(CASBEE準拠)

LR1.3. 設備システムの高効率化(全熱交換器の採用)

LR2.1. 水資源保護(節水型便器、自動水栓の採用)

IR3 2 地域環境への配慮(オール電化方式を採用)

その他(開口部遮音性能の確保、夏期24℃の室温を確保、清掃のしやすい材料の選定)